

■総合テーマ：コミュニケーションで描く未来

春季 日進キャンパス

テーマ

複雑な時代の法的トラブルをどう解くか
～問題解決にコミュニケーションが果たす役割～

秋季 名城公園キャンパス

5月10日(土)
10:00～12:00※1

法学部 藤原 究

10月9日(木)
18:00～20:00※2



社会経済が発展していくとともに、我々を取り巻く環境にはますます複雑な利害関係が張り巡らされています。人や企業がトラブルを抱えたとき、その解決方法として「訴訟」があります。訴訟は結果として当事者に勝ち負けをもたらす、一応の解決をもたらします。ただ、現代のトラブルは国家間の対立から企業間の対立、職場でのハラスメントやご近所トラブルまで多岐にわたります。こうした対立を真の意味で解決し、よりよい社会を実現するため、法律はどのような手助けができるのでしょうか？具体的なトラブル事例から考えます。

春季 日進キャンパス

テーマ

性格とコミュニケーションの心理学

秋季 名城公園キャンパス

5月17日(土)
10:00～12:00

心理学部 谷 伊織

10月16日(木)
18:00～20:00



本講義では、パーソナリティ心理学の主要な理論である「ビッグファイブ」を活用し、性格特性とコミュニケーションスタイルの関係について解説します。「外向性」「調和性」「誠実性」「情緒不安定性（神経症的傾向）」「開放性」の5つの特性が、人々の会話や対人関係にどのように影響を与えるのか、近年の研究の結果とともに学びます。

春季 日進キャンパス

テーマ

多文化共生のためのコミュニケーション
～基本スキルを学びましょう～

秋季 名城公園キャンパス

5月24日(土)
10:00～12:00

文学部 山田 貴将

10月23日(木)
18:00～20:00



右記の内容に
変更となります



デジタル化と政治コミュニケーション：
反グローバリズム時代の多文化共生
文学部 大澤 傑

具体的には、①多文化共生の定義、②多文化共生の目的、③多文化共生の推進策、④多文化共生のためのコミュニケーション能力とは、に分けて分かりやすく説明していきたいと思っています。併せて、日本国内における多文化共生の現状に関しても概観していきたいと思っています。

春季 日進キャンパス

テーマ

異文化受容の深化に着目した旅行者モードと特徴
～異文化コミュニケーションからみる旅行構造と旅行者類型～

秋季 名城公園キャンパス

5月31日(土)
10:00～12:00

文学部 松岡 昌幸

10月30日(木)
18:00～20:00



現代的な観光の意味は物見遊山的な観光旅行の意味合いが強いが、語源に照らせば意味深長な言葉です。観光の語源は中国の古書『易経』（「観国の光。利用賓于王」）に見られ、本来の意味は国際交流を本質とする「留学」（るがく）に近いものです。当講義は、その観光の語源に触れ、最初に旅行、旅、留学、観光の概念を整理・検討し、旅行を取り巻く基本的構造を図示します。さらに、マズローの欲求段階説等を踏まえ、異文化受容の深化に基づく段階的な旅行者モードを紹介します。そして、コンテクスト（文脈）の視点から、コミュニケーションの場としての特徴を考察し、「表層的—深層的」を軸とする次世代の旅行や旅行者のカタチを紹介します。

※1. 初回のみ 9：50～開講式 ※2. 初回のみ 17：50～開講式